



# 石積っ子

教育目標 **さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 とを大切に**

坂本小だより 令和6年3月号

児童数590名 (24 クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上島 憲一】

## 『祝150才』～地域とともに150年～

1874(明治7)年3月1日に『滋賀郡第11学区篤明小学校』として開校した坂本小学校は、先日創立150年を迎えました。この長きにわたる地域、保護者と学校とのつながりが良き伝統と校風を育てて来ました。“坂小150才”という、この大きな節目を子どもたちや保護者、地域の方々、そして教職員とともに迎えられることを大変うれしく、そして光栄に思います。因みに今年度卒業する現6年生を加えると坂本小の卒業生は13009人になります。150年間、13000人の子どもたちに、たっぷりの愛情を注ぎながら支え励まし続けてくださった保護者、地域の皆様にはあらためて心から感謝申し上げます。

今年度は「150周年」を合言葉に、年間通して様々なイベントの開催や記念品の贈呈がありました。地域、保護者の方にも呼びかけて参加いただいた、イベント第1弾のドローンによる『記念空撮』、秋には地域の文化祭で『坂小150年ムービー』の放映と写真で見る『年代別歴史年表』の展示、さらに参加者600人を超える盛況となったPTA主催の『夜の坂小 恐怖の肝試し』が行われました。そして締めくくりは、子どもたちによる『坂小150才誕生日会』とプレゼント披露でした。新旧校歌の聞き比べやみんなの寄せ書きでできあがった『巨大サカエもんパネル』の披露など、さかもと大好きな時間を過ごせました。コロナ禍を抜けた今年度、150年を機に協働した1年間を通して、あらためて学校と保護者、地域との連携の大切さを感じました。

次年度以降の坂本小学校は、150年の歴史と伝統をつなぎ、今一度『さかもと大好き』な子どもを育てるべく3者が協働で160年、170年…200年に向かって新たな時代をつくっていかねばなりません。我々職員一同、本校のますますの発展に尽力いたすことをお約束いたします。どうか、今後とも変わらぬご指導、ご支援頂きますようお願いいたします。

### ありがとうございました【記念品紹介】

- 一、縄跳びジャンピングボード制作
- 一、サカエもんデザインタオル
- 一、体育館ひな壇 (以上、PTAより)
- 一、サカエもん&モトひめデザインの飛び出し坊や  
(坂本青少年育成学区民会議、坂本民生委員児童委員協議会より)
- 一、空撮デザインクリアファイル



＜3月、4月(R6)の主な学校行事 3/1 現在＞

今後変更になることもありますので各学年の通信等でお確かめください。

## 協働・連携ありがとうございました

150周年を機に、コロナ禍で足踏みしていた「協働・連携」の歩みを取り戻そうとした今年度、保護者並びに地域の皆様方には、本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきありがとうございました。日頃から子どもたちの成長を一緒になって考え、ご尽力いただいたことはもちろん、様々な場面でお世話になりました。読書活動では「読み聞かせボランティア」の皆さんによる朝の読み聞かせをしていただきました。「ふれあいメンバー」の皆さんにはふれあいルームの再開に伴って寄贈いただいた新しい畳で子どもたちと交流していただきました。また、子どもたちの毎日の登下校や校外学習時に、スクールガードの方々や保護者の皆さんに見守っていただきました。スポ少や体振、子指連、青少年学区民会議の皆さんには子どもたちの活躍の場を提供していただきました。本当にありがとうございました。くり返しになりますが、学校だけでは子どもたちの確かな成長を育むことは難しいです。今後とも、学校・家庭・地域がいつも同じ方向を向いて、ともに協働・連携していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ※ふれあいメンバー大募集

毎週月曜水曜の昼休みに、子どもたちとふれあいルームで一緒に遊んだり話したりしてくださる「ふれあいメンバー」を随時募集しています。保護者、地域の方ならどなたでも、そして都合のつく日だけでも歓迎です。お手伝いいただける方、関心をお持ちの方は学校（教頭、もしくは地域コーディネーター）までお伝えください。電話、来校どちらでも結構です。



## 令和6年度の主な行事予定、日課表及び重点事項(具体的方策) (あくまでも現時点の予定。参考程度に)

### 令和6年度 坂本小コミュニティの大目標(学校・地域・家庭)

150年の歴史をつなぎ 学校・地域・家庭が  
よりいっそう連携して 自立した子どもを育成する  
～自分大好き 友達大好き さかもと大好き～

### 令和6年度 重点方策(案)

- |               |  |
|---------------|--|
| さいごまでやりぬく     | ◇毎月の重点とふりかえりによる『5つの心得』〈あいさつ・はきもの・そうじ・時間・人〉の徹底(見える化による意識化)  |
| からだをきたえる      | ◇主体的な活動を大切に授業(単元をまとまりとして捉える「滋賀県型指導案」の活用)<br>◇大津体操の活用 ◇大津市スポーツランキングへの挑戦 ◇食育(給食の習慣)<br>◇命を守る安全・防災教育  |
| もとめてまなぶ       | ◇単元を通してめあてとふりかえりの連動した主体的な学びのある授業<br>◇学力分析に基づいた習熟度別課題(学習)の提供 ◇家庭と連携した家庭学習の改善<br>◇読み優先の漢字学習による読書力の向上◇読書力を高める図書館教育の充実(電子図書館の活用)<br>◇教科担任制の拡大                    |
| とも(人)をたいせつにする | ◇自己有用感のある学級・学年・学校、いじめを無くす人権感覚の向上<br>◇一人ひとりに寄り添う場の提供(個別学習・交流・相談機能を備えたふれあいルーム)<br>◇開かれた学校の実現と特色ある学校づくり(地域学習の充実とふれあいサロンの環境整備)<br>◇インクルーシブ教育の充実(実特別支援学級への全職員の参加) |